

四飛鼓作命  
シ木勤作命

別紙

0083

(四飛隊作命第五編別紙)

一、三三三三木一飛行場作業隊編成表

考 備	隊 長 隊				
	班工木	班直勤自	班庄職	隊業作二第	隊業作一第
其他者其都度指示不	長市村重曹 尾岡二員	長山本伍長 久保田重兵衛 堀田重兵衛 佃上重兵衛 成瀬重兵衛 寺尾重兵衛 稻垣重兵衛 辻本重兵衛 仲澤重兵衛 坂口重兵衛 洲脇二員 長瀬二員	長藤森重兵衛 前枝重兵衛 安達二員	長瀬戸中尉 原田重曹 鈴木鳩次重曹 八百兵長 赤上重兵衛 松下上重兵衛 赤坂重兵衛 加藤重兵衛 加藤重兵衛 葉重兵衛 岩田重兵衛 丹羽重兵衛 村上二員	長下村中尉 八百兵長 柳平兵長 赤坂重曹 那須田重曹 丹目鳩次 高須重兵衛 村松上重兵衛 三澤重兵衛 岡一重兵衛 高日一重兵衛 前田重兵衛 渡辺重兵衛 小泉重兵衛 増野重兵衛 岩木重兵衛 増野重兵衛 小塚重兵衛 赤田二員

三木新任命第天海別紙

三木飛行場第三次整備計画

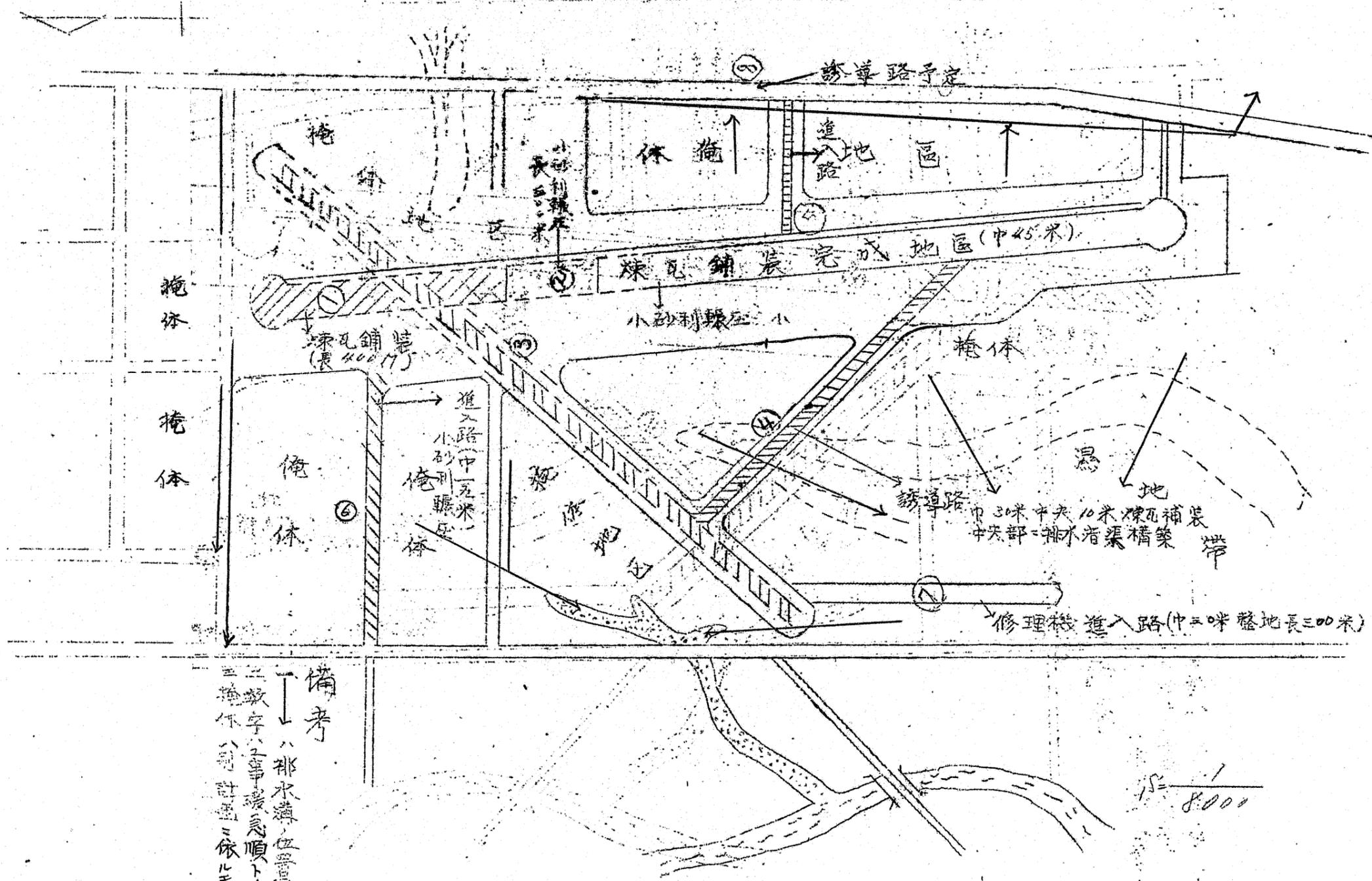
昭和十七年九月十日

第一作業区引揚り主線道路ノ残部ヲ煉瓦敷簡易舗装ニシテ夫ニ補助滑走路ヲ整備シ主線第一  
路ト補助滑走路ト間ノ誘導路ヲ新設シ降雨直後等リテ概テ各機種ノ着陸ニ支障ナ  
カシキトス

実施期日 十月十日ト予定ス

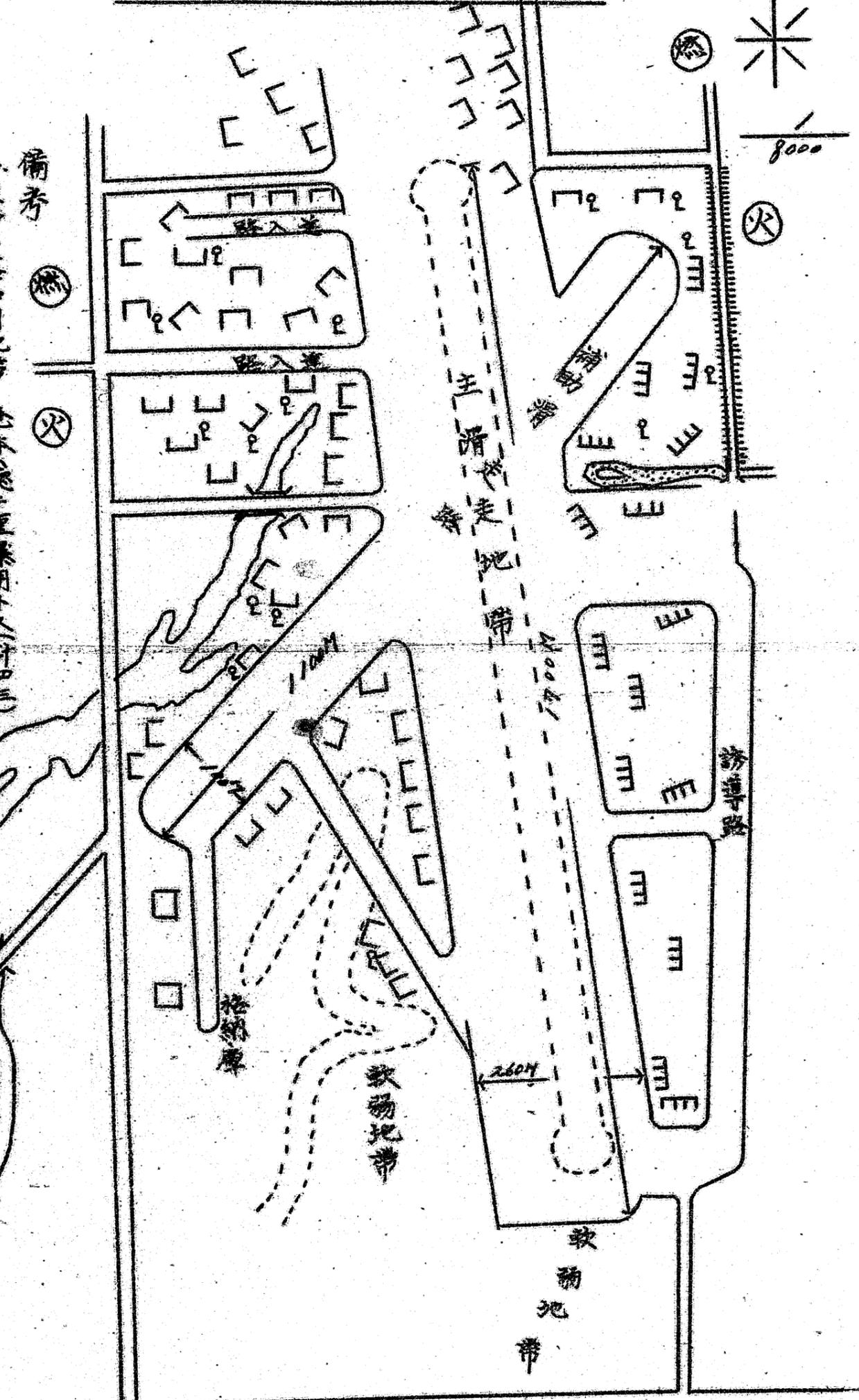
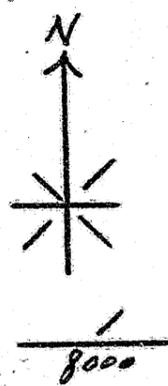
考 備	路入進		路導誘		路走滑助補		路走滑主		作業種類	作業順序	作業区	作業所要	完成	
	切土整地	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷						
<p>一本表ハ主線飛行場整備計画附録第三ヲ状シ、其ノ他ノ如ク重要ナル部分ニ改定ス 二自動車使用区ハ別ニ計画ス 三此ノ外周囲ノ道路ノ保各線ニ於テ新設舗装スルトス 四完成スルキ飛行場状況別紙要綱第ニカシ</p>	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	除草整地	一	第一区	人員 撤入	車 輛	予 定 日
	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	煉瓦敷	二	第二区	人員 撤入	車 輛	予 定 日
	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	煉瓦敷	三	第三区	人員 撤入	車 輛	予 定 日
	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	煉瓦敷	四	第四区	人員 撤入	車 輛	予 定 日
	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	煉瓦敷	五	第五区	人員 撤入	車 輛	予 定 日
	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	煉瓦敷	六	第六区	人員 撤入	車 輛	予 定 日
	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	煉瓦敷	七	第七区	人員 撤入	車 輛	予 定 日
	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	煉瓦敷	八	第八区	人員 撤入	車 輛	予 定 日
	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	煉瓦敷	九	第九区	人員 撤入	車 輛	予 定 日
	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	敷地敷	煉瓦敷	十	第十区	人員 撤入	車 輛	予 定 日

圖要場行飛木五ウエシ



備考  
 一、排水溝、位置ヨリス  
 二、数字ハ工事順ハ順トス  
 三、掩体ハ設計圖ニ依ルモノトス

シエツ工水飛行場掩体要図



- 一 主滑走路西側地帯、掩体線ヲ重濶用トス (計四三)
- 二 東北部、コ字型印ハ司備用 (計九)
- 三 東側地帯、目印ハ戦斗機ニ取テ連結シテ収容線トス (計四八)
- 四 各二重要領ハ別紙ニ添テ入

男門

織

0088

別紙第一

遺骨收容隊行動概要

八月十五日 晴

編成

萬壽野戰飛行場設置隊

長 瀬戸少尉

原田伍長

赤上等兵 成瀬上等兵 赤坂一等兵 島津工員

第1輸送飛行中隊

西島軍曹

皆川上等兵 石掛一等兵

右、編成三九時三十分「コム」に出發、民船より増木を「イ」の河を横断シ、  
「コム」に到着、同地「馬車」五台を借り出發ス。

行軍序列 原田伍長、瀬戸少尉、成瀬上等兵、赤坂一等兵、西島軍曹、皆川上等兵、  
石掛一等兵、島津工員、赤上等兵、順序「三」思路ヲ猛進、二十時十分「コム」

ニ到着 明日ノ行程ハ馬車ノ歩行困難ナ悪路爲コシテヨリ馬車ヲ返シ新  
ニ牛車ヲ借テ明日ヘノ準備ヲ完了シヨウツベニ荷降ス

八月十五日 曇

昨日ノ行軍隊形ヲ以テ十時ヨウツベニ出發 十二時五十分コトパベニ到着 荷降  
ス

八月十四日 曇

「コトパベ」ニテ村長ニ依頼シ遭難箇所ヲ聴取諸般連絡ヲテシ被服及ヒ  
食糧等登山ノ準備ヲナス

八月十五日 晴

十三日ノ行軍隊形ニテ十時コトパベニ出發 十九時十分セシヤニ到着 民家ニ宿  
營ス

八月十六日 曇雨

之ヨリ先牛車ノ道路ナシ依ツテ人夫ヲ集メ一月分ノ食糧及器械ヲ背負  
ハシテ十時セシヤニテ徒歩出發ス 道無キ道ヲ河ヲ渡リ瀬ヲ越ヘ三角錐

0090

八月十七日 晴  
如キ山ヲ登リ續ケテ十七時三十分ハボボウニ到着當地ニ宿ス

ボボウヲ九時四十分出發峻険極ニ小腹ヲ猛獸吃哮ヲ聞キ七時三十分ハボボウニ到着ス

八月十八日 曇

十時ハボボウ出發「ミンセン」ニ十八時到着當地ニ宿

八月十九日 雨

十時十分「ミンセン」ヲ出發降雨ヲ衝キ難行軍ヲ續ケ十七時十五分「デオライ」ニ到着當宿ス 全員志氣益々軒昂セリ

八月二十日 雨

當宿地「デオライ」ヨリ遭難地迄約ニ料所要ノ人夫ト岩杖ヲ用意シ降雨ノ中ヲ十時出發一ヨリ一途遭難地ニ十二時五十分到着機体胴体ト翼ハ散シ發動機ニ個又尾部ハ燒盡セリ  
村ニ曹長半死体ハ機体より高十五米地ニ竹林小腹ニ二体ツクテ所墮

葬セラレアリ、直ニ堀出タシテ長時日ヲ経シ爲シ別ハ付ケル状及ナリ  
ニテ所ヨリ堀出セシ遺骸ヲ一ヶ所ニ收要一同黙禱祖ニ大葬ニ附シ骨ヲ  
拾ヒ其ノ跡ニ大日本軍軍人戦死之地ト墓標ヲ建テ十七時三十分ヲ以テ  
ニ歸還ス

八月五日 曇

「テオライ」ミンセン間ニ埋葬セラレタル一団ノ收容ノ爲ニ森ニ軍兵、成瀬上等兵、  
高津工員ニ若干ノ人夫ヲ附シ先發セシメ、十時「テオライ」ヲ出發ス  
同地ニテモ、鄭重ナル大葬ヲ行ヒ大日本軍軍人戦死之地ノ墓標ヲ建テ  
十五時四十分「ミンセン」ニ到着同地ニ荷當セリ此處ニ無事遭難者ノ遺骨  
ノ收拾ヲ終リ解日ヨリ歸途ニ付カントス

八月五日 晴

十時十分「ミンセン」ヲ出發歸還ノ途ニ付テ、十七時四十分「バホイ」到着ニ付

八月五日 曇

十時十五分「バホイ」出發、二十時三十分到着ス

0092

八月二十日 雨

雨降ル中ヲ十時十五分「ボ」ボウヲ出發ス。此ノ日山道ヲ行軍中雨ハ一故ト劇シテ  
加フセシヨシニ迄ハ音信地無キ爲行軍ヲ中止ル能ハズ前進スル行路ハ大河  
激流ト化シ「ロ」カヲ渡シ遺骨ヲ頭ニ縛リテ渡河セリ。

渡河ノ際島津工員ハ危ク激流ニ卷込マシトセシガ幸シテ其難ヲ免レ十時  
三十分一同無事「セ」ニ到着ス。

八月二十五日 曇

昨日ノ難行軍ヨリ雨又ハ河中渡渉ヨリ濡レ被服及岩杖ノ整備ノ  
爲「セ」ニ滞在明日ノ行軍ヲ準備ス。

八月三十日 曇雨

「セ」ニ九時十五分全發。十六時四十分「シ」ニ到着爲營。

八月三十一日 曇

「シ」ニ時早分「シ」ニ「シ」ヲ出發セシ途半降雨爲河水増水シ不通爲  
十五時三十分「台」ボウ部落ニ宿營ス。

0093

八月二十日 曇

「カヲホウ」ヲ六時坐發、十八時三十分「ミンス」ニ到着ス

八月二十九日

「ミンス」ニテ渡船ノ連絡ヲ了シ盡ヨリ一級ニ休養ス

八月三十日 晴

十時三十分「ミンス」出發、船ニ艘ニ分乗シ「イワシ」河ヲ渡河、十時三十分「カスウ」ニ到着、第十五飛行場大隊在「カスウ」部隊ニ連絡シ荷當ス

八月三十一日 曇

第七航空地区司令官宛「無事遺骨收容シ「カスウ」ニ到着ス」ノ電報ヲ九ニ飛行場大隊ニ依頼矣信ス

第七航空地区司令官ヨリ左ノ電報ヲ受領ス

七航地司電第三八三號

第四飛行場教導隊瀨戸少尉へ

困難ヲ排シヨク任務達成ニ對シ謝意ヲ表ス

0094

航空地区司令官

九月一日曇

昨夜ヨリ瀬戸少尉石掛一等兵鳥津員高熱ニ侵カセシ為成瀬一等兵ヲ第十五飛行場ニ隊ヲ賀少尉ニ連絡同隊貨車ニ便乗セシメ本隊ニ連絡セシムベシ十時十五分ヨリ本隊ヲ全隊セシム此旨ヨリ本隊ニ通報ス

九月二日曇

成瀬一等兵ハ「イナギヤン」トイフケイハ間河水増水為自動車ノ運行不能トナリ「マク」ニ歸還セリ其旨ヨリ本隊ニ通報ス

九月三日晴

「マク」ニ於テ待期中「マク」本隊ヨリ寺尾一等兵増田一等兵迎へ為貨車一輛ヲ以テ到着アリ

九月四日曇

迎へ貨車來ルニ熱發者アル為出發ヲ延シ暫ク待期ス

九月五日晴

待期

0095





行動要圖  
 (三ヶ所分(圖参照))

0097

經理狀況

一 宿營並ニ給水狀況

シエラレホ「ミイトキイナ」兩隊共既設民家ヲ利用宿營  
狀況概テ良好ナリ

シエラレホニ於テハ各月末迄迄内諸施設ノ完備ヲ圖リ共  
改築場自働車庫等ヲ新設ス

給水ハ「シエラレホ」「ミイトキイナ」共ニ既設井ノ水ヲ利用シルニ概テ  
良好ナリ

二 經理關係者行動

一 九月五日會野檢査兵地ヲ第五飛行師團經理部西村  
主計大佐望月大尉外准尉一名來隊スル

一 九月十日第五飛行師團經理部西村主計大佐團下長  
閉部隊視察ノ序ヲ以テ當飛行場作業狀況視察未  
隊スル

一 九月三日第五飛行師團司令部謀略課中佐上共二松崎  
主計中佐豊地飛行場ニ来場奈良系中尉出張ニ経理  
業務ヲ連絡シタ

一 本月間ニ於ケル経理官行動

一 九月十日奈良系主計中尉ハ前渡資金受領シタ

一 シンブーン第五飛行師團出張後同日七日帰隊ス

二 九月四日今井主計中尉ハトングー野戦多摩隊ニ帰ス

一 本月申立ル未納元々也

一 陸軍給與令等改正ノ関スル件通牒

(九月十七日 飛行師団第一〇九号)

二 細長兵額及展開地人員調査ノ件通牒

(九月十一日 飛行師団第一〇五号)

三 被服業務受託ノ関スル件通牒

(九月十一日 飛行師団第一〇五号)

4. 迎兵船交付ニ関スル件通牒

(九月十一日  
五飛師経第一二五号)

5. 小麥新換用節減ニ関スル件通牒

(九月十一日  
五飛師経第一八号)

6. 兵器費使用状況調査ニ付照會

(九月十一日  
五飛師兵第三四八号)

7. 寝具交付ニ付通牒

(九月十一日  
五飛師経第三四号)

8. 勤積貯蓄支給ニ関スル件通牒

(九月十一日  
五飛師経第三三三号)

9. 分任官資金前渡官更交替ニ付通牒

(九月十一日  
五飛師経第三三三号)

10. 繰戻金変更ニ付資金交付系統並ニ整理ニ  
関スル通牒

(九月十一日  
五飛師経第三三三号)

11. 師團経理規程並ニ経理事務規程ニ関

凡意見提出ノ件ニ付

(九月十日 五飛師陸第三二六号)

凡酒保品配給ニ関スル件通牒

(九月十日 五飛師陸第三二六号)

凡酒保品配給ニ関スル件通牒

(九月十日 五飛師陸第三二六号)

凡通貨交換業取扱変更ニ関スル件通牒

(九月十日 五飛師陸第三二六号)

一本月中ニ于テハ後翰元ノ如シ

凡八月分前渡資金決算書送付ノ件通牒

(九月四日 第九九五陸第三二六号)

凡税務員調査送付ノ件通牒

(九月十日 第九九五陸第三二六号)

凡給養兵額及展開地人員調査ノ件通牒

(九月十日 第九九五陸第三二六号)

4. 延發費使用状況調査、件回答

(九月廿日  
第九九五(経第八)号)

5. 被服品補給請求書

(九月廿日  
第九九五(経第八)号)

6. 経理日報提出、件通牒

(九月廿日  
第九九五(経第八)号)

7. 留手元渡金及領、送付、件通牒

(九月廿日  
第九九五(経第八)号)

三、金銭事項

一、九月十四日奈良原主計中尉ラクーン第五飛行師團

経理部、九月十日分前渡資金金八萬圓也、受

領入

前日越高	本月受高	本月支繰高	本月持越高
四六五、六三	八〇,〇〇〇,〇〇	二八、八〇、四六	九七、三五、二六

三 本月間ニ於ケル主要ナル支拂元ノ如シ

俸給	築造費	種株費	備考
二〇九五〇〇	三三〇九〇〇	一六八〇六〇	上記金額ハ月々異 存貯ニシテ

四 決算整理ノ状況

決算整理ハ概テ順調ニシテ今般繰戻取立ニ伴フ資

金整理ハ第五飛行部結算ニ關シテ基行ノ関係書類

調製簿表等ノ記載ヲ了了シ同日付新系統

ニ依リ資金投入

左資金系航交更ニ伴ヒ提款書類取立ニ第五飛行

部元發送ハ九月分決算書ハ既ニ編纂ニ終リ茲ニ提出果了

五 九月三十日別金種検査異記セラル

六 匯票ノ流通

匯票ノ流通ハ頗ル良好ナリ

七 昔力ニ對シテ債銀支拂方法

小願軍業交付少多力對允賃銀支拂に全部落  
毎ニ指定先苦力願對允嚴密九出場人員調査取  
一推支拂之改又本月初以俾具他祝不支種順調ナリ  
八九月辛丑日十五飛行場大隊 轉送ニ押之シエラエ未飛  
行場着キ中 檢取工事(十月十日迄)諸支拂府  
回隊中結ケル

#### 四 糧食事項

一 糧食給養並ニ補給状況

ハシエラエ本隊八辛下シテ、  
調味料副食物中出詰類及心給品等補給ノ後精  
米並ニ生野菜生肉類等生鮮食品類等八日隊調解  
ニ依ルル米類並ニ辛下ハ稍々ハ辛因難ニ成ル  
以テ之ヲ對米トシテ養隊養強ヲ計置中ナリ  
二、三ノトテハ派遣隊八回地勤務部隊ヲ第五飛行場

大隊より現品給與ヲ受テ自隊炊事ノ修補費ヲ莫地ニシ  
一 本日本給養ノ員充テ如シ

隊長以下 二十名

被服事項

一 被服支給交換補修補給状況

初身共々補修人員對テ不足被服並ニ其他不吉兵

被服等不足品對シテ八師團野戰倉庫ヨリ補給受シ

概テ所要充テタル数量不足ハ八師團野戰倉庫ニテ

九月二十日以前三日間ニ亙リ被服長用現況調査ヲ

莫地ニシテ修理費品ヲ積貯シ更ニ不足品ニ付テ

八別送補給請求ヲ行テ被服補修ニ関シテ努力ヲ

發心處分ニ付テ補修材料ニ依リ個人補修ヲ勵行

シ一部ハ前記調査ニ依リ要修理品ヲ示サシ給テ

委託修理ヲ莫地ニ計畫ナリ

實施タル計畫ナリ

乙 本月中師團野戰倉庫ヲ補修シ受タル被服及

補修材料等ノ如シ

丙 初年兵及補充員用被服

防暑帽 地下足袋 尿管 敷骨料 菜骨柳

滑柳網 防蚊覆面 防蚊手袋 以上各千五個又

六八組

丁 不足ニ對スル被服

綿帽一。水筒(紐共) 綿上靴三。粗巻脚絆三。

襪草(紐共)二。紐長ハ上等共一五一等共三。

靴下九五函外套一五

ハ 補修材料

洗濯石鹸五。洗 白カタン糸二。個 茶福カタン糸

二。個

ニ浦口夜祝皮各一。ケ 祝履一。ケ

五 物品裝備補給状況

ハ俸給兵数ハ主トシテ前駐留地ヨリ實行シ一部ハ

現地材料ヲ以テ製造シタルヲ以テ事務上支障ナ

キ状態ナリ

燈火用品蚊取線香燧取紙等ハ現地調製困難ナル

状態ニテ主トシテコンダレーノ新設資材廠師團野戦

倉庫等ヨリ補給受クモシコソク蚊取線香等ハ配給

刑ニ依リ支給シ之ガ後護衛所用ニ努メテナリ

ニ事務用消耗品類ヲ補給ハ極メテ僅少ニシテ且シ現

地ニテ調製困難ナルタメ目下處稅ヲ事務上支障ナキ

程度ナルヲ漸ク通過シタル行一面極力使用ノ節約ヲ

奨勵スルト共ニ他面事務上不可缺品ナルヲ以テ之補

給受ニ極心シアリ

3. 日用品類ハ主トシテ補給費ニ依ルニ石炭ハ不足額ニ  
シテ身練番磨ハ殆下補給ナク又現地ニテハ高價ニ  
シテ到底兵員ノ使用不堪之ガ補給ヲ行若慮中ナリ  
補給費ニ依リ外支状態ナリ

六. 修繕事項

本月間ニ於ケル現地大工ノ備用シ修繕ニシテ  
九、如シ

1. 炊事場水橋上屋

2. 自動車庫、新設(兼養生)ニ線

3. 炊飯器場、移轉

4. 便所、移轉

5. 宿舎一部雨漏シ修理

ニ其、他

將來ニ對スル希望並ニ意見

1. シエネボ、ノイトキオーナ、兩隊ニ對スル日用品酒保品  
ヲシテ、レ、貨物廠出張所ヨリ受領シ得ル如ク、  
經理部ニ連絡額度
2. 被服其他特種補給品ヲ付クトモ、トング、  
庫ニ於テ受領シ得ル如ク考慮アリ度
3. 電池(電球類)ノ補給ニ付、何分考慮アリ度
4. 衣糧爲品補給關係、ミニ、  
穿ハ提虫又ハ交付月ヨリ、  
ク、  
ニ週以上、  
5. 日用品タル米、  
始以來、  
各々現地品ハ、  
用困難ナリ之カタ、  
私金ヲ、  
取シ、  
入シタル、  
状態、

リ致ニ加給品若クハ安積ナル酒保品ヲ補給ヲ速クナラ  
シマラレ度

0110

A large, mostly blank rectangular area with faint horizontal lines, possibly representing a table or a very faded document page.

0111

自九月一日  
至九月三十日

患者發生狀況

官等人員	舊患	新患	治愈	癒内還	現在員	事故
六		九	九		六	
下士官兵	七四 (院三)	九	九		七三	一
軍人以外	一六 (院三)	一	三		一五	一
計	九六	四	一四	一二	九四	二

備考

一 事故入院者示ス  
 二 衛生状況  
 部隊宿舎諸設備之屢次改善及び完備ノ域ニ達シテ各保清下消毒ノ勵行ヲ最守セリ昨今洋風多量下口申夜間ノ氣温ノ變化甚クテ鳥糞等ノ消化器病並ニ呼吸器病患者ヲ発生シ見ルニ概テ良好ニ状態ナリ  
 採防接種  
 九月三日又ハ止第百九月九日又ハ止第百九月十六日ヨリ止第百九月三十日ヨリ第百九月三十日ヨリ第百九月三十日迄実施シ隊内浸込ノ防止ニ努メタリ

別紙第四

主要兵器発現状況表

品目	区分	発現数	増加		減少		備考
			前月	前々月	前月	前々月	
銃器砲具	九式軍刀	三					外道事務所
	多量式軍刀乙			二			外道事務所
	多量式銃剣	五〇		六〇			補充倉庫
	多量式銃	五〇		六〇			補充倉庫
	多量式拳銃	一三		二			五
	三式銃兵砲	五〇		五〇			
	三式銃兵砲	三〇		三〇			
	三式銃兵砲						
	三式銃兵砲						
	三式銃兵砲						
自動車	乗用車	三		三			
	自動車	二		一〇			補充倉庫
	特殊車						五
	牽引車						
播	千鳥型石機	一					補充倉庫
	三式石機	一					五
	三式石機	二					五
	三式石機	一					五
戦	化学	一					
	化学	一					
	化学	三					
	化学	一					
科	燃料	三					
	燃料	一					
	燃料	三					
	燃料	一					
燃	燃料	三					
	燃料	一					
	燃料	三					
	燃料	一					
燃	燃料	三					
	燃料	一					
	燃料	三					
	燃料	一					

別紙第五

部隊展開人員表

昭和十七年九月三十日現在

考	備	合計	ナイヤトイミ		ボエウエシ		名	飛
			平	喜	男	武		
	入腹患者八揚上心	六					中	將
		一					中	校
		一八	三		伍	〃	〃	下
		五八	一六		伍	〃	〃	士
		一一	四		伍	〃	〃	官
		九四	二四					兵
								工
								員